

# 中学歴史プリント（過去問類似）

## 昭和時代（戦前）

名前

得点

/9

問1 1937年に勃発した日中戦争の経緯について、当時の歴史的状況を説明した文として最も適切なものはどれですか。（2018年 岩手県

公立入試 類似）

1. 北京郊外での軍事衝突を機に戦線が中国全土へ拡大し、日本は長期戦を強いられることになった。
2. 国際連盟の強力な仲裁により、北京周辺での小規模な衝突のみで講和条約が結ばれた。
3. 満州事変の解決と同時に日中間の友好条約が締結され、全面戦争は回避された。
4. 日本の宣戦布告に対し、中国軍は抵抗を断念して速やかに降伏したため、戦火は拡大しなかった。

問2 蒋介石率いる中国国民党と、毛沢東率いる中国共産党が協力して「抗日民族統一戦線」を形成するに至った背景や経緯として、最も適切なものはどれですか。（2018年 福島県公立入試 類似）

1. 孫文の指導の下で、欧米諸国から奪われた利権を取り戻すために内戦を停止した。
2. 日本軍の中国本土への全面的な侵攻に対し、内戦を中断して民族の団結を優先させた。
3. 満州事変の直後に、蒋介石と毛沢東が満州国を共同で統治することに合意した。
4. 日中戦争が終結したあとに、共産主義国家を樹立させるための準備として協力した。

問3 1940年にガンディーが表明した、当時のインド支配体制に対する反対の立場とその背景について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2025年 千葉公立入試 類似）

1. ナチズムによる侵略と同様に、他民族を抑圧するイギリスの帝国主義も否定されるべきだと主張した。
2. イギリスの軍事力を借りて、ドイツのナチズムを打倒することがインド独立への近道であると説いた。
3. アメリカの支援を受けることで、イギリスの帝国主義から脱却し、社会主義国家を建設することを目指した。
4. フランスと協力してイギリスの勢力を排除し、枢軸国側として参戦することで独立を勝ち取ろうとした。

問4 1945年8月、アメリカ、イギリス、中国などの連合国軍から日本に対して突きつけられた、軍隊の武装解除や民主主義の確立などを条件とした無条件降伏の要求を何といいますか。（2026年 栃木公立入試 類似）

1. ポツダム宣言
2. カイロ宣言
3. ヤルタ会談
4. サンフランシスコ平和条約

問5 1929年にアメリカで発生した世界恐慌は、日本経済に甚大な影響を及ぼし「昭和恐慌」と呼ばれる事態を招きました。このとき、日本の農村部が深刻な打撃を受けた経済的背景として、正しい説明はどれですか。（2019年 島根公立入試 類似）

1. 最大の輸出先であったアメリカの景気が悪化したことで生糸の輸出が激減し、繭の価格が暴落したため。
2. 第一次世界大戦による軍事需要がなくなったことで、造船業や鉄鋼業に従事していた農村出身者が解雇されたため。
3. 欧米諸国が日本の綿織物に対して高い関税をかけたことで、都市部の工場が閉鎖され、農村への仕送りが止まったため。
4. 政府がデフレ政策をとって紙幣の発行額を減らしたため、農産物の価格が下落し、農民の借金が実質的に増大したため。

問6 1929年に始まった世界恐慌への対策として、イギリスやフランスがとった政策について説明した文として最も適切なものはどれですか。自国と植民地の関係に注目して選びなさい。（2024年 千葉県公立入試 類似）

1. 自国と植民地間の関税を下げ、他国からの輸入品に高い関税を課すことで、経済圏内の市場を保護しようとした。
2. 政府が積極的に市場へ介入し、ダム建設などの公共事業を行うことで失業者を救済し、国内景気の回復を図った。
3. 国家主導で五カ年計画を実施し、農業の集団化と重工業化を推し進めることで、資本主義諸国の恐慌の影響を回避した。
4. 持たざる国としての立場から、軍備を拡張して近隣諸国へ侵攻することで、新たな市場と資源の確保を目指した。

問7 1924年に加藤高明が護憲三派による内閣を組織してから、1932年の五・一五事件によって政党内閣が途絶えるまでの期間、日本がイギリスなどの列強と歩調を合わせて国際平和を目指した外交方針を何と呼びますか。（2019年 和歌山公立入試 類似）

1. 協調外交
2. 強硬外交
3. 門戸開放政策
4. 南進政策

問8 1940年（昭和15年）9月に調印され、日本、ドイツ、イタリアの3か国が互いの指導的地位を認め合い、軍事的な協力を約束した同盟を何といいますか。（2018年 和歌山公立入試 類似）

1. 日英同盟
2. 日独伊三国同盟
3. 日ソ中立条約
4. 日米安全保障条約

問9 1945年の第二次世界大戦終結に至る経過において、連合国によるポツダム宣言の発表から、日本政府がこの宣言の受諾を最終的に決定するまでの期間に起こった出来事として適切なものはどれですか。（2026年 三重公立入試 類似）

1. 広島と長崎への原子爆弾の投下
2. 東京都心部を標的とした東京大空襲の発生
3. 沖縄本島における大規模な地上戦の開始
4. 連合国軍最高司令官総司令部（GHQ）の設置

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 北京郊外での軍事衝突を機に戦線が中国全土へ拡大し、日本は長期戦を強いられることになった。	盧溝橋事件が発生した際、日本政府は当初「不拡大」の方針を掲げていましたが、軍事衝突は止まらず、戦域は北京周辺から上海、さらに南京へと広がりました。一方の中国側も抗日民族統一戦線を形成して抵抗を続けたため、日本側の予想に反して戦争は泥沼化し、長期的な全面戦争へと発展しました。
問2	<b>答え 2</b> 日本軍の中国本土への全面的な侵攻に対し、内戦を中断して民族の団結を優先させた。	もともと国民党は共産党の殲滅（せんめつ）を優先していましたが、日本軍の侵攻が激しくなるなか、張学良によって蒋介石が監禁される西安事件が発生しました。これを機に、国民党は共産党との内戦を中断する方針へと転換しました。1937年の盧溝橋事件によって日中戦争が始まると、両党の協力関係は正式なものとなり、日本軍との戦いに備えました。
問3	<b>答え 1</b> ナチズムによる侵略と同様に、他民族を抑圧するイギリスの帝国主義も否定されるべきだと主張した。	ガンディーは「非暴力・不服従」の精神を貫き、いかなる暴力的な支配にも反対しました。彼は、ドイツによる武力侵攻（ナチズム）を非難する一方で、インドを支配下に置くイギリスの帝国主義もまた、他者の自由を奪う暴力的な構造であると捉え、両者に反対する姿勢を明確にしました。これが後の「インドを立ち去れ運動」へのつながりとなります。
問4	<b>答え 1</b> ポツダム宣言	1945年7月にドイツのポツダムで開かれた会談に基づき、連合国側から日本へ提示されました。日本は同年8月14日にこれを受諾し、翌15日に終戦を迎えました。この宣言には、日本の軍国主義の除去や領土の限定、民主的傾向の復活などが盛り込まれていました。
問5	<b>答え 1</b> 最大の輸出先であったアメリカの景気が悪化したことで生糸の輸出が激減し、繭の価格が暴落したため。	1920年代の日本にとって、生糸は対米輸出の主力製品でした。しかし、アメリカで世界恐慌が始まると生糸の需要が激減し、その原料となる繭を生産していた日本の農村は収入源を断たれました。これに冷害による凶作などが重なり、農村は欠食児童や身売りが出るほどの深刻な窮状に陥りました。これが昭和恐慌における農村の悲劇の主な要因です。
問6	<b>答え 1</b> 自国と植民地間の関税を下げ、他国からの輸入品に高い関税を課すことで、経済圏内の市場を保護しようとした。	イギリスやフランスなどの広大な植民地を持つ国々は、自国と植民地を一つの経済的なまとまり（ブロック）とし、その内部では関税を安くして貿易を活発にする一方、圏外の国々に対しては高い関税を課して製品を排除する「ブロック経済」を展開しました。これにより自国の経済を守ろうとしましたが、結果として国際貿易は著しく縮小することになりました。
問7	<b>答え 1</b> 協調外交	第一次世界大戦後の国際社会では、国際連盟の設立などを通じて戦争を避けようとする機運が高まりました。日本では加藤高明内閣以降、外相を務めた幣原喜重郎を中心に、イギリスやアメリカとの関係を重視し、中国への内政不干渉を掲げる「幣原外交」と呼ばれる方針がとられました。
問8	<b>答え 2</b> 日独伊三国同盟	第二次世界大戦が進行する中で、アジアでの勢力拡大を目指す日本と、ヨーロッパで支配域を広げていたドイツ、イタリアが利害を一致させて結んだ軍事同盟です。この同盟により、日本はドイツ・イタリアを中心とする「枢軸国」陣営の一員として、イギリスやアメリカなどの「連合国」陣営と対立する構図が明確になりました。
問9	<b>答え 1</b> 広島と長崎への原子爆弾の投下	1945年7月にポツダム宣言が発表された後、日本がこれを受諾するまでの間に、8月6日の広島、8月9日の長崎への原子爆弾投下が行われました。これらの未曾有の被害とソ連の対日参戦が、日本の受諾決定の決定的な要因となりました。東京大空襲は1945年3月、沖縄戦は4月に始まっており、GHQの設置は降伏後（9月）の出来事です。